



【先週 7月11日～7月17日の外食の出来事】

■鳥貴族も日本政策投資銀行から30億借入

鳥貴族が、日本政策投資銀行から30億円を借り入れた。「飲食・宿泊等をはじめとする事業者に対する日本政策投資銀行の支援策強化」を活用。担保なしで3年の借入期間。既存借入金の返済のため。

■サイゼリヤ下方修正、25億円の営業赤字 21年8月期予想

2021年8月期の連結営業損益が25億円の赤字(前期は38億円の赤字)になる見通しだと発表した。従来予想(7億円の赤字)を下方修正した。新型コロナウイルスまん延の影響が長期化し売上が減る。

■コメダHD、純利益2.2倍 3～5月既存店売上高19年並み

2021年3～5月期の連結決算は、純利益が前年同期比2.2倍の13億円だった。新型コロナウイルス感染が急拡大した前年同期に比べると客足が回復。営業時間を短縮して自治体から受け取った協力金も利益を押し上げた

■リンガーハット1億円の最終黒字、3～5月期 協力金で

2021年3～5月期の連結最終損益が1億500万円の黒字(前年同期は17億円の赤字)だったと発表した。時短協力金などを10億円計上したことが寄与した。コストの圧縮による収益体質の改善も下支えした。

■あさくま100%子会社、竹若が破産

株式会社あさくまの子会社である株式会社竹若が、東京地裁に破産を申請。外食不況の流れに逆らうことができず、あさくまが資金援助を行ってきたが、想定していた収益を上げることが叶わず、3月末をもって全店舗休業した。

■クリエイトRとSFP、共同購買会社を設立

クリエイト・レストランツと、「磯丸水産」を展開するSFPホールディングスが、資本金折半で共同購買会社を設立。グループ各社にて行ってきた購買の意思決定を新会社に一元化することで、サプライチェーンマネジメントを強化。

■「白木屋」「魚民」のモンテローザ、休業100店追加し計600店に

「白木屋」や「魚民」などを展開するモンテローザは、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象以外の地域でも、約100店舗で休業する。すでに東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、沖縄県の約500店舗で休業。

■吉野家ホールディングス、第1四半期(2021年3月～5月)の連結業績

2021年2月期 第1四半期の連結業績は売上高364億5000万円(対前年同期比8.1%減)、営業損失2億600万円(-)、経常利益25億2000万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億3300万円(-)であった。

■大庄、赤字止まらず、さらに51店舗を閉鎖

株式会社大庄が、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が続くことを受け店舗を見直し、新たに51店舗を閉店。21年8月期第3Qでも最終赤字50億92百万円。前年同期も赤字46億16百万円であり、赤字が止まらない。